

令和3年度 事業報告

公益財団法人亀岡市スポーツ協会は、「スポーツに親しみ、スポーツで笑顔、スポーツで元気な亀岡」の実現を目指して、市民スポーツの一層の推進と競技力向上のため諸事業を計画したが、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの事業や会議を中止せざるを得なかった。

また、「京都亀岡ハーフマラソン大会」も同事情により中止とした。

【重点事項】

1 運営基盤の整備並びにスポーツ協会の機能の充実

諸事業の推進に必要な財源を確保するため、賛助会員を募り財源確保に努めるとともに、本協会が所有するスポーツ用具や印刷機についても、使用料を徴収し事業充実のため、用具等の補充や加盟団体の事業の支援を行った。

2 市民スポーツの振興

かめおか市民スポーツフェスティバル、第70回平和祭市民スポーツ大会、第47回亀岡市民駅伝競走大会や各スポーツ教室を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止及び縮小とし生涯スポーツの推進、市民の健康増進を積極的に図ることが出来なかった。

3 競技力の向上

第44回京都府民総合体育大会市町村対抗競技は、5競技が中止となったため、開催した種目は得点を争わない交流大会として実施された。

コロナ禍でありながらも各競技においては、ジュニア選手を始め、多数の選手が活躍することができた。

4 指導者の資質の向上と養成

指導者の育成と資質の向上を図るため、研修会(スポーツフォーラム)を計画したが中止とした。加盟団体の発展に貢献し、功績の顕著な方等の表彰を行った。

5 スポーツ少年団の育成と拡充

交流活動、社会奉仕活動を中止とし、子どもたちの「生きる力」を育む事業を実施出来なかった。

また、公認ジュニアスポーツ指導者並びにリーダーの育成する事業も中止とした。

6 都市間交流事業の推進

京都市西京区と亀岡市の都市間交流事業の一環として、軟式野球、ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ競技を計画したが、軟式野球のみ実施し、他2種目は中止とした。

7 指定管理施設の有効活用

本協会が管理している社会体育施設については、安全・安心な状態で利用者に気持ちよく使用できるよう維持管理に努めた。また、コロナ感染症対策として、月読橋球技場の駐車場や側溝の補修等改善を図った。